

連合長崎第26回定期大会

～次の飛躍へ 確かな一歩を～



連合長崎は、2017年10月19日(木)の15時30分から長崎県勤労福祉会館(長崎市)において第26回定期大会を開催しました。

大会の冒頭には、衆議院議員選挙の選挙期間中でありましたので、連合長崎推薦候補者の1区の西岡秀子氏、2区の山口はつみ氏にご臨席いただき、決意表明をいただきました。

大会は、石井副会長の開会あいさつにはじまり、議長団に電力総連・堀江代議員、フード連合・中山代議員、日教組・山下代議員を選出して議事が進められました。

冒頭、森会長があいさつ(別記)を行い、その後、連合本部 下田総合総務財政局長、里見長崎県副知事、

小玉長崎労働局長、加藤長崎副市長、高木民進党長崎県連代表、坂本社民党県連合副代表から激励のあいさつを受けました。

その後、「第16回フォトコンテスト」最優秀賞の小川美喜雄さん(佐世保重工労組)の表彰を行い、2017年2月1日から今回の定期大会までの組織拡大実績に基づき、UAゼンセン、自治労へ「組織拡大に関わる交付金」を授与しました。

引き続き、一般経過報告、2017春季生活闘争総括、2017年度連合長崎選挙総括、2017年度会計報告・会計監査報告をし、満場の拍手をもって全会一致で承認されました。

議案については、第1号議案「2018年度運動方針(案)」、第2号議案「2018年度予算(案)」、第3号議案「政治活動について(案)」、第4号議案「連合長崎規約・規程類の改定について(案)」、第5号議案「2018・2019年度長崎役員選出(案)」の提案を行い、それぞれが承認されました。

この大会で、森会長をはじめ13名の役員が退任をしました。役員をされた皆様のご尽力に感謝申し上げますとともに、宮崎会長・高藤事務局長の新体制で「組織強化・拡大」「格差是正」等の諸課題に取り組んでいきます。



議長団
左から、
電力総連・堀江代議員、
日教組・山下代議員、
フード連合・中山代議員、

会長あいさつ



～連合が目指す社会像

「働くことを軸とする安心社会」について～

連合結成から27年、私たちは共に団結し、幾多の困難を乗り越えてきました。しかし近年になり労働者を取り巻く環境は、非正規雇用の大幅増、格差拡大、グローバル化による会社施策への対応、労働者保護ルールの改悪、など課題が山積しつつも、スピード感を持った対応が求められています。更に自民党は総選挙終了後「働き方改革」を強行する構えであり、高度プロフェッショナル制度の導入など、過重労働に追い打ちをかける制度を法制化しようとしています。私たち連合は「ワークライフバランス」を柱に働くもの全ての生活の安心・安全を求め「働くことを軸とする安心社会」の実現と「クラシノソコアゲ」の実現に向け労働者の力の更なる結集を図らなければなりません。今後、さまざまな行動に対し格段のご協力をお願いします。

～「組織強化」と「組織拡大」について～

労働運動を展開して行く中で、最も大切なのは「組

合員の理解と賛同と結束力」です。日常においての組合員との対話が必要なのは皆さんも理解されていると思います。

組合員との信頼関係を築き、労働組合の必要性を行動で示すことが一番の組織強化に繋がると思います。そして組合員から信頼される労働者の為の労働組合であること、言い換えれば「組合員の組合満足度を高める事」を広く地域社会にも浸透していかなければなりません。連合長崎も少しずつではありますが組織拡大の実績は残していますが、道半ばであります。正規社員の減少の中、非正規社員への対応も急がなければなりません。「組織強化無くして、組織拡大無し」このことが極めて大切だと思います。連合本部も組織強化に向けた取り組みをスタートしています。組織強化のための地方連合会への予算配分なども検討されています。

～労働者が求める

「政策制度実現に向けた」行動について～

私たちが求める「政策制度の実現」には労働組合の力だけでは実現できない事も多々あります。政策制度の実現を目指すには支持政党や議員に対する働きかけが不可欠です。そのことを広く社会に浸透させることも忘れてはなりません。

第48回衆議院選挙も正に最終盤を迎えています。連合長崎は10月6日の執行委員会、16日の連合長崎と単組代表者会議で「希望の党」という新党からの出馬ではありますが県内4候補の推薦を構成組織の理解を得た上で再決定し、「反自民・非共産」の取組みを継続することを決定し最大限の力を結集することを約束しました。特に1区と4区は何としても選挙区で取りたい。昨年7月の参議院選挙を思い出してください。西岡候補は終盤に激しく追い上げましたが、一步届かずの闘

いでした。「あと1週間あれば」との思いは皆さん共通だったと思います。今回も時間がありません。出来ることは限られています。この時期に来て何をすべきか十分に斟酌し、今夜の1区総決起集会と残された時間、組合員への更なる浸透など何をすべきかを行動で実践

していただき、労働組合の底力を証明したいと思えます。

また来年は統一自治体選挙、並びに参議院選挙への取組みを決定する大切な年となります。連合長崎が目指す「政策制度実現に向け」引き続きのご支援をお願い

【退任された役員の皆様】

会 長	森 光一 (基幹労連)	執行委員	山下 耕司 (自動車総連)
副 会 長	本村 和博 (自治労)		金原 剛蔵 (自治労連)
	石井 健次 (UAゼンセン)		岩口 保則 (JR連合)
副事務局長	佐竹 明彦 (自治労)		岩永 財 (全国ガス)
	鴨川 博明 (基幹労連)		菊永 昌和 (佐世保地協)
	芳川孝太郎 (電力総連)		中村 正子 (女性委員会)
			橋本 幸枝 (女性委員会)

来賓あいさつ



連合本部下田総合総務財政局長



里見副知事



小玉労働局長



加藤長崎副市長



高木民進党長崎県連代表



坂本社民党県連合副代表



新役員あいさつ



退任役員あいさつ

2018・2019年度 連合長崎役員

役 職		氏 名			組 織 名		
会 長	専 従	宮 崎	辰 弥	新	情 報 労 連		
副 会 長	非専従	松 田	圭 治	新	自 治 労 連		
		中 川	俊 紀	再	基 幹 労 連		
		小 西	英 二	新	U A ゼ ン セ ン		
		岩 永	洋 一	再	J P 労 組		
		本 多	毅 一	再	電 力 総 連		
上 田	洋 一	再	情 報 労 連				
事 務 局 長	専 従	高 藤	義 弘	新	基 幹 労 連		
副 事 務 局 長	専 従	増 本	利 恵	再	自 治 労 連		
		古 川	洋 介	新	基 幹 労 連		
		北 川	淳 好	再	J P 労 組		
		宮 本	晃 好	新	電 力 総 連		
執 行 委 員	非専従	桜 井	健 一	再	電 機 連 合		
		片 岡	義 洋	新	自 動 車 総 連		
		山 口	裕 志	再	運 輸 労 連		
		藤 澤	恒 昌	再	全 駐 労 合		
		久 木 崎	功 一	新	J R 連 合		
		松 本	順 一	再	海 員 組 合		
		野 原	秀 昭	再	交 通 労 連		
		田 尻	正 行	再	私 鉄 総 連		
		堤	典 子	再	日 教 組 合		
		永 野	功 生	再	フ ー ド 連 合		
		久 富	健 一	新	自 治 労 連		
		嶋	三 郎	再	国 公 総 連		
		神 野	精 一 郎	新	全 国 力 入		
		鶴 田	英 二	再	全 自 交 労 連		
		廣 田	勝 美	再	長 崎 私 交 通		
		木 戸	則 之	新	長 崎 電 気 軌 道		
		酒 井	隆 明	再	長 崎 地 協		
		鴨 川	博 明	新	佐 世 保 地 協		
		入 江	良 美	再	諫 早・島 原 地 協		
		塩 入	高 志	再	大 東・壱 岐・対 馬 地 協		
高 井	良 芳 行	再	五 島 地 協				
			女性 (女性委員会一任)				
			女性 (女性委員会一任)				
会 計 監 査	非専従	橋 田	和 廣	再	交 通 労 連		
		倉 田	昌 明	再	自 治 労 金		
		貴 戸	淳 二	再	全 労 金		

大会宣言

連合長崎は2020年に結成30周年を迎える。その節目を前に、次の時代の連合長崎の運動を力強く切り拓いていくためにも、今からの2年間で、足元をしっかりと固める期間としていかなければならない。

わが国は、人口減少に伴う課題の克服や第4次産業革命への対応など、未来への希望をつないでいくうえで重要な局面にある。その中で、誰もが互いに支え合い、希望を持って働き暮らせる社会のために、連合が掲げる「働くことを軸とする安心社会」の実現がより一層求められている。

現在、雇用形態間における不合理な格差の解消、長時間労働の是正など連合が求めてきた政策が進みつつある。しかし、「働く者のための働き方改革」を実現するためには、法律の整備はもちろんのこと、職場や地域での実践こそが不可欠である。私たちは、集団的労使関係の強みを活かし、その先頭に立って取り組みを進めていく。

その大前提は、国民による国民のための政治が行われることである。私たちがめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現していくためには、まさに最終盤となっている第48回衆議院議員選挙で、連合長崎が推薦している1区「西岡秀子」氏、2区「山口はつみ」氏、3区「末次精一」氏、4区「宮島大すけ」氏の4人を私たちの力で、国会に送り出すことである。私たちは、国民不在の安倍一強政治を決して許すわけにはいかない。日本の将来を左右する重要な戦いに、全ての組合員・家族・退職者のネットワークをフル活用し、連合長崎の組織の総力を結集し勝利しよう。

この大会で私たちは、組合員からも市民からも信頼され、頼られる存在としての連合長崎として、連合長崎組織内の参加・参画と対話を推進し、組織力、政策力、発信力に一層磨きをかけていくことを確認した。私たちは、2020年「6万人連合長崎」をめざし、組織強化・拡大を図り、非正規雇用、女性、若者をはじめ多様な仲間の参画促進、そして社会の共感と信頼を得る取り組みを発信していく。私たちは、すべての働く者のための労働運動を展開し、その社会的役割と価値を着実に次の時代につないでいく。

いまこそ、次の飛躍へ、確かな一歩を踏み出そう！。

2017年10月19日
連合長崎第26回定期大会

長崎 1 区で議席を奪還 ご支援ありがとうございました

第48回衆議院選挙は、1区・西岡秀子氏、2区・山口はつみ氏、3区・すえつぐ精一氏、4区・宮島大すけ氏を擁立し、かつてない超短期の熾烈な戦いとなりました。結果は、2区・3区・4区では、健闘したものの残念ながら惜敗という結果になりました。

しかしながら、連合長崎に結集する全ての組織の皆様の、最終盤での総決起集会への結集や期日前投票の徹底などの尽力により、1区の西岡秀子氏は初当選を勝ちとることができました。

全国的には自公で3分の2以上の議席という結果になり、安倍一強政治に歯止めをかけることは出来ませんでした。この結果を真摯に受け止め、2019年の統一自治体選挙、同年夏の参議院選挙への取り組みを進めていきます。



当選のお礼を述べる西岡氏

【長崎1区 開票結果】

◇当日有権者数	347,539人
◇投票者数	190,656人
◇投票率	54.86%(前回49.65%)
◇得票数	西岡 秀子 氏 90,569票(当選)
	富岡 勉 氏 80,049票
	牧山 隆 氏 16,011票

【長崎2区 開票結果】

◇当日有権者数	303,574人
◇投票者数	175,620人
◇投票率	57.85%(前回51.17%)
◇得票数	山口 はつみ 氏 57,538票
	加藤 かんじ 氏 97,874票(当選)
	近藤 いちう 氏 15,261票

【長崎3区 開票結果】

◇当日有権者数	242,428人
◇投票者数	145,359人
◇投票率	59.96%(前回51.84%)
◇得票数	すえつぐ精一 氏 35,554票
	谷川 やいち 氏 83,992票(当選)
	石丸 完治 氏 12,638票
	くちいし竜三 氏 8,469票

【長崎4区 開票結果】

◇当日有権者数	261,478人
◇投票者数	150,029人
◇投票率	57.38%(前回52.37%)
◇得票数	宮島 大すけ 氏 61,137票
	北村 誠吾 氏 73,899票(当選)
	石川 さとる 氏 10,459票

連合長崎第16回フォトコンテスト最優秀賞が決定!

9月14日(木)に「連合長崎第16回フォトコンテスト」の審査を行いました。今年は78点の応募があり、「磯(佐世保重工労組 小川美喜雄さんの作品)」が最優秀賞に決定しました。皆様、力作ばかりでした。来年もたくさんのご応募をお待ちしております。

最優秀賞



「磯」

小川 美喜雄さん
(佐世保重工労組)

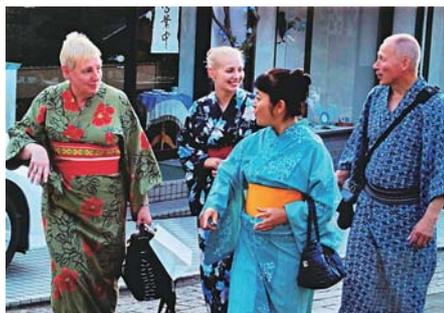
優秀賞



「勝負あり」

長浦 敏雄さん
(佐世保重工労組OB)

連合長崎会長賞



「ゆかたまつりへ」

左村 博志さん
(西肥自動車労組OB)

連合長崎副会長賞



「長崎みなと夕景」

梅川 慎一さん
(長崎RMC労働組合)

入賞



「美を競う晩秋の森」

堀 隆義さん
(県タク観光支部OB)



「My Angel」
内田 貴浩さん
(佐世保重工労組)

入 賞

佳 作



「ひまわり」
村瀬 潤さん
(三菱重工労組長船支部)



「輝船」
林 晃一さん
(三菱重工労組長船支部)



「ドレミファソラシドー」
松井 節子さん
(佐世保重工労組OB)



「夏の兆し」
桐木 達朗さん
(佐藤造船労組)



「夕日とススキ」
石橋 眞三義さん
(佐世保重工労組OB)



「伝統を守る漁」
山口 哲男さん
(県タク観光支部OB)



「ヒメホテルの乱舞」
村井 文明さん
(自治労西海市職労家族)



「天界の楽園」
竹之内 貴裕さん
(NTTワールドエンジニアリングマリン)



「木場浮立」
矢津 充浩さん
(佐世保重工労組OB)



「寒行」
西中須 盈さん
(全国一般)



「港町～長崎に客船がある風景～」
亀澤 秋人さん
(三菱重工労組長船支部)



「洛陽」
西野 光明さん
(佐世保重工労組OB)

「アジア・アフリカ支援米」各地協で稲刈り！

春に田植えを行った各地協・ブロックにおいて、10月に稲刈り作業を行いました。各地協で子どもたちも参加し、楽しい汗を流しました。

収穫された支援米は、現在、各構成組織へお願いしていますカンパ金で購入するお米と合わせ、来春3月に支援先に発送予定です。各地協・ブロックの役員、組合員・家族の皆様、ご協力ありがとうございました。

(今年は雨の影響で、残念ながら大村・島原の稲刈りは中止・延期になっています)

